

**令和 8 年度県産日本酒等の海外展開支援業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和 8 年 7 月 9 日（木）から令和 8 年 7 月 13 日（月）
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	・ 広島県商工労働局県内投資促進課海外ビジネス担当監 ・ 広島県商工労働局海外展開・投資促進担当部長 ・ 広島県商工労働局商工労働総務課長 ・ 広島県商工労働局観光課担当課長（観光魅力創造担当） ・ 広島県農林水産局販売・連携推進課長
4	議 題	令和 8 年度県産日本酒等の海外展開支援業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定について
5	担当部署	広島県商工労働局県内投資促進課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	提案のあった 2 社の中から、最優秀提案者を決定することとし、各選定委員が審査表に基づき採点した。 各委員の評点の合計が 6 割以上かつ、最も高い提案者である株式会社電通西日本広島支社を最優秀提案者として選定した。 A 社：株式会社電通西日本広島支社 B 社：株式会社 TSS プロダクション 各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。 【A 社】 ・ マーケットインによる販路拡大に向けたトップセールスの進め方や、現地ジャーナリストの人選について、特に評価したい。 ・ 関係者である酒造組合や牡蠣業者にヒアリングしている点も評価したい。 ・ 見積書の内訳に不明瞭な点が多々あるのが気になる。 ・ 「市場発想」に基づき、「販路拡大」を目標に据えた提案であり、トップセールス等の人選も効果的であると思われる。アジア地域での販路拡大についてもターゲット国の選定理由も適切であり、期待ができる提案である。 ・ 本業務の趣旨をしっかりと理解しており、類似業務の実績もあることから、着実な業務実施が期待できる。 ・ ロンドンでの提案は IWC での実績を活かした内容となっており、またアジア対象国の選定理由が整理されており評価できる。

	・ 知見を持つ現地パートナーの起用は期待できるものの、欧州における日本酒のプロモーションについて、広島酒の特色を理解した上で対応できる方は1名しかいなかった。また、牡蠣とのペアリングに関する知見の有無が記載されていればより具体的な提案となったのではないかと。 ・ アジア地域における日本酒及び牡蠣等の販路拡大において、アフターフォローに関する具体的な記載がなく、ポイントが不明確であった。また、県内酒蔵へのアプローチが現時点では不十分であったため、採択された場合、早期に調整していただきたい。 【B社】 ・ IWCをはじめ国内外の主要品評会で高い評価を受けた酒蔵をフォーカスした「広島ブランド」の発信は、これまでにない取組として参考になるが、IWC ひろしま審査会との一貫性を持たせることができていないのが残念である。 ・ 仕様書において、ロンドンでのレストランイベントは、IWC ひろしま実行委員会が別に委託することとしていることを認識していない提案となっている。また、提案のあったレストランイベント企画についても、現地参加者には少し堅苦しい印象を与える内容となっている。 ・ 通訳や車両手配の詳細が提示してあり、安心感がある。 ・ 現地輸入卸業者2社をターゲットにする戦略は、面白く、実施してみたい。ペアリングランチ会については、この方法が適切なのかどうか、短期間で、訪英する企業を募ることができるのかどうか、疑問もある。 ・ 本業務の趣旨を理解しつつ、商談の評価の見える化やアジア市場の2段階戦略など、積極的な独自提案がされており、また類似業務の実績もあることから、大きな成果につながる可能性がある。 ・ 海外販路開拓の実績をいかし、継続販売につながる提案となっていたものの、今年度のIWCとの連動性が低くなっていた。 ・ 通訳や、現地移動などの基本的な業務についても丁寧に記載されていたところは評価できる。 ・ 商談後のアフターフォローまでの流れについても具体的に記載されている。 ・ 広報については、一定程度の提案はなされていたが、欧州は雑誌が中心、アジアはメディアが中心となっていた。媒体が異なる理由や、メディアとのコネクションなどがあまり記載されていなかったのももう少し具体的に記載していただきたかった。
--	---